

科目名	ブライダルコーディネート演習						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	井上 ゆかり		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	ホテルにおいて 婚礼担当として勤務		
対象学科・学年	ホテル・ブライダル科 2年						
授業概要	2年間の集大成として2月に行われる模擬結婚式を成功させるための準備を行う。1年次で学んだブライダルの知識を活かし、テーマに沿ったペーパーアイテムやグッズを制作し、プログラムを考案する。ブライダルの知識向上やアイデア力向上のみでなく、役割ごとに責任感を持ち、積極性と協調性の向上も目指す。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				結婚式を行うにあたり必要な準備物やプログラムを準備・考案できる	
		○		○		ブライダルアイテム(招待状・ウェルカムグッズ)などの制作物を完成することができる	
	○	○				テーマに沿ったアイテムや演出などのアイデアを出すことができる	
				○		議論の場では積極的に意見を述べ、また他者の意見を聞きながらまとめることができる	
			○			役割に責任を持って行動し、進捗状況を共有することができる	
テキスト・教材 参考図書	ブライダルコーディネーターテキスト(スタンダード)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	オリエンテーション(模擬結婚式とは、前年度の振り返り)				なし	
	2	模擬結婚式準備①(役割分担、テーマ決め)				なし	
	3	模擬結婚式準備②(スケジュール確認・表作成・準備物考案)				なし	
	4	模擬結婚式準備③(招待状の作成スケジュール・マナー)				テキスト該当範囲を読んでおくこと	
	5	模擬結婚式準備④(進行・演出考案)				事前にアイデアを考えておくこと	
	6	模擬結婚式準備⑤(制作物用品買い出し・準備)				なし	
	7	模擬結婚式準備⑥(アイテム制作～招待状～)				なし	
	8	模擬結婚式準備⑦(進捗状況確認、物品整理)				各自進捗状況をまとめておくこと	
	9	模擬結婚式準備⑧(アイテム制作～招待状、その他ペーパーアイテム～)				なし	
	10	模擬結婚式準備⑨(制作物用品買い出し・制作)				買い出しリストを出しておくこと	
	11	模擬結婚式準備⑩(アイテム制作～ウェルカムボード～)				なし	
	12	模擬結婚式準備⑪(アイテム制作～ウェルカムグッズ～)				なし	
	13	模擬結婚式準備⑫(進捗状況確認、物品整理)				各自進捗状況をまとめておくこと	
	14	模擬結婚式準備⑬(ウェディングケーキデザイン考案)				事前にアイデアを考えておくこと	
15	前期振り返りとまとめ、後期への課題				事前に振り返りをしておくこと		
評価方法	主に演習授業となる為、以下の観点で評価する。 (1)授業への取組み状況(アイデアの提案状況、担当制作物の作成状況、進捗管理) (2)意欲・努力 (3)報告・連絡・相談の状況 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	授業への取組み状況	○	◎		○		100%
	意欲・努力				◎		
報告・連絡・相談		○		◎			
履修上の注意	授業に関係のない私語や行動はしないこと。外出時は時間通り行動すること。報連相の徹底。						

科目名	観光概論(観光学基礎)						
科目名(英)	Tourism Science Basics						
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	齊藤 道幸		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	旅行会社において 添乗員として勤務		
対象学科・学年	ホテル・ブライダル科 2年						
授業概要	「観光とは何か、観光産業とはどのような産業か、観光ビジネスの特性とは何か」といった観光を学ぶ上で必要な基本的な事項について、理解を深める。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				観光とはどういうものか。その歴史を学び、説明できる。	
	○	○				観光が社会、日常生活に与える影響を考え、それぞれ整理し説明できる。	
	○	○				観光産業はどのようなものか。その特性とは何かを考え、説明できる。	
	○					観光にまつわる言葉の意味を理解し、それぞれ述べることができる。	
	○	○				地域社会の活性を意識した行動ができる。	
テキスト・教材 参考図書	・「観光学基礎」JTB総合研究所刊 ・講師作成レジメ						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	旅 旅行 観光とはどういうものか。その歴史、語源は。					
	2	観光について学び意義。観光の効果について考える。				テキストの該当範囲を事前読んでおくこと。	
	3	レジャー・レクリエーション・ホスピタリティとは。				テキストの該当範囲を事前読んでおくこと。	
	4	観光のしくみ。観光を構成する要素。観光産業の意味としくみ。				テキストの該当範囲を事前読んでおくこと。	
	5	観光資源と観光対象について。				テキストの該当範囲を事前読んでおくこと。	
	6	観光産業の定義と種類。観光ビジネスの特徴。				テキストの該当範囲を事前読んでおくこと。	
	7	観光政策と観光行政(インバウンド)。新しい観光へ。				テキストのテスト範囲並びに講師作成レジメのチェック。	
	8	確認テスト実施				テスト解答できない箇所の復習	
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)確認テストを最終講義日に実施する。 (2)授業の際、最近興味をもったニュース・出来事を各自発表する。(授業態度・積極性の評価対象とする) 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準はS(90点以上)A(80点以上)B(70点以上)C(60点以上)D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	小テスト	◎	○				50%
	授業態度・積極性	○	○		◎		50%
履修上の注意	・欠席3回以上で、単位不可。確認テスト公欠で参加できない場合は、レポート提出(課題は講師指示)						

科目名	実用英語 I・II - ①						
科目名(英)	Training Practice for STEP 2 <sup>nd</sup> Grade						
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	辻 泰宇		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	ホテル・ブライダル科、エアライン科 1, 2年						
授業概要	就職活動の資格試験として合格し、国際的なビジネスの場で必要とされる英語運用能力を養うことを目的とし、英検2級の問題を中心にリーディング・リスニングの演習を行います。また、英文理解力、語彙の強化に努め、英検2級の合格を目指します。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技: ※	主たる方法: ○ その他: △		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他		
	○				目標		
	○				語彙: 英検2級に頻出の単語や表現を覚え、理解することができる		
	○				読解: 基本的な英文の内容を理解し、正しく理解することができる		
	○				リスニング: 様々な内容の英語を理解し、正しく理解することができる		
○				英作文: 基本的な単語を使って、言いたいことをどうにか伝えることができる			
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> <li>英検2級集中ゼミ20日間 [新試験対応版]</li> <li>でる順パス単 英検2級</li> </ul>						
授業計画 授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	序説: 名詞・形容詞・副詞の役割と文の要素SVOCM			左記の内容をそれぞれ覚えるように覚えること		
	2	序説: 5文型と文構造			各文型の基本構造を覚えるように覚えること		
	3	1日目: 短文の語句空所補充問題①(単語)解説			「英検2級集中ゼミ」を事前に解いてくること		
	4	2日目: 短文の語句空所補充問題②(熟語)解説・問題			「英検2級集中ゼミ」を事前に解いてくること		
	5	3日目: 短文の語句空所補充問題③(文法)解説・問題			「英検2級集中ゼミ」を事前に解いてくること		
	6	4日目: 短文の語句空所補充問題④(語法)解説・問題			「英検2級集中ゼミ」を事前に解いてくること		
	7	5日目: 長文の語句空所補充問題① 解説・問題 [A] [B]			「英検2級集中ゼミ」を事前に解いてくること		
	8	6日目: 長文の内容一致選択問題① 解説			「英検2級集中ゼミ」を事前に解いてくること		
	9	6日目: 長文の内容一致選択問題① 問題 [A] [B]			「英検2級集中ゼミ」を事前に解いてくること		
	10	7日目: 長文の内容一致選択問題② 解説			「英検2級集中ゼミ」を事前に解いてくること		
	11	7日目: 長文の内容一致選択問題② 問題 [A] [B]			「英検2級集中ゼミ」を事前に解いてくること		
	12	8日目: 英作文問題① 解説			「英検2級集中ゼミ」を事前に解いてくること		
	13	8日目: 英作文問題① 問題			「英検2級集中ゼミ」を事前に解いてくること		
	14	9日目: 会話の内容一致選択問題① 解説・問題			「英検2級集中ゼミ」を事前に解いてくること		
	15	10日目: 文の内容一致選択問題① 解説・問題			「英検2級集中ゼミ」を事前に解いてくること		
	16	9日目: リスニング問題を攻略! ①			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること		
	17	10日目: リスニング問題を攻略! ②			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること		
	18	11日目: 【応用】短文の語句空所補充問題を攻略! 単語⑤			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること		
	19	演習: リスニング特訓①			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること		
	20	12日目: 【応用】短文の語句空所補充問題を攻略! 熟語⑥			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること		
	21	13日目: 【応用】短文の語句空所補充問題を攻略! 文法⑦			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること		
	22	14日目: 【応用】短文の語句空所補充問題を攻略! 語法⑧			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること		
	23	演習: リスニング特訓②			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること		
	24	15日目: 【応用】長文の語句空所補充問題を攻略! ②-1			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること		
	25	15日目: 【応用】長文の語句空所補充問題を攻略! ②-2			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること		
	26	演習: リスニング特訓③			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること		
	27	16日目: 【応用】長文の内容一致選択問題を攻略! ③-1			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること		
	28	17日目: 【応用】長文の内容一致選択問題を攻略! ③-2			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること		
	29	演習: リスニング特訓④			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること		
	30	前期定期試験 (筆記)			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること		
評価方法	(1)、定期試験(筆記)を実施する (2)、月曜日から金曜日まで、毎朝、単語の小テストを実施する。 (3)、宿題を課す。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	小テスト	◎	○		○		25%
	宿題	◎	○		○		5%
朝自習	◎	○		○		20%	
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>辞書を持参すること</li> <li>授業中のスマホの使用は禁止</li> <li>授業外での自主学習の推奨</li> </ul>						

科目名	実用英語 I・II ー①						
科目名(英)	Practical English						
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	深川信子		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	ホテル・ブライダル科・エアライン科 1,2年						
授業概要	国際的なビジネスの場で必要とされる英語の能力を養う事を目的に、TOEICの問題を中心にリスニング・リーディングの演習を行います。また、文法・語彙の強化に努め、TOEICのスコアアップを目指します。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					文法:基本文法を理解することができる	
	○					語彙:TOEICに頻出の単語を覚え、使用する事ができる	
	○					リスニング:様々な国の英語に慣れ、話しの内容を理解することができる	
	○					リーディング:ビジネス文書や記事を読み、内容を理解することができる	
テキスト・教材 参考図書	公式TOEIC Listening&Reading問題集(国際ビジネスコミュニケーション協会) TOEICテスト英文法をひとつひとつわかりやすく(学研) TOEIC L&R 出る単特急銀のフレーズ(朝日新聞出版)						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学習指示		
	1	TOEIC IP テスト実施					
	2	TOEIC IP テスト実施					
	3	シラバス確認、TOEIC概要、英語の基本ルール					
	4	文法:unit1-2, Listening:part1(1-6)			『英文法をひとつひとつわかりやすく』を事前に読み、解いておくこと		
	5	文法:unit3-4, Listening:part2(7-11)			『英文法をひとつひとつわかりやすく』を事前に読み、解いておくこと		
	6	文法:unit5-6, Listening:part2(12-16)			『英文法をひとつひとつわかりやすく』を事前に読み、解いておくこと		
	7	文法:unit7-8, Listening:part2(17-21)			『英文法をひとつひとつわかりやすく』を事前に読み、解いておくこと		
	8	文法:unit9-10, Listening:part2(22-26)			『英文法をひとつひとつわかりやすく』を事前に読み、解いておくこと		
	9	文法:unit11, Listening:part2(27-31) Reading:part7(147-148)			『英文法をひとつひとつわかりやすく』を事前に読み、解いておくこと		
	10	Listening:part3(32-37) Reading:part7(149-152)			Readingの該当箇所を事前に解いておくこと		
	11	Listening:part3(38-43) Reading:part7(153-157)			Readingの該当箇所を事前に解いておくこと		
	12	Listening:part3(44-49) Reading:part7(158-163)			Readingの該当箇所を事前に解いておくこと		
	13	Listening:part3(50-55) Reading:part7(164-171)			Readingの該当箇所を事前に解いておくこと		
	14	文法:unit12-14, Listening:part3(56-61)			『英文法をひとつひとつわかりやすく』を事前に読み、解いておくこと		
15	文法:unit15-17, Listening:part3(62-67)			『英文法をひとつひとつわかりやすく』を事前に読み、解いておくこと			
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)毎週、単語の小テストを実施する。(3)朝自習のプリント・宿題を提出すること。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	小テスト	◎					25%
	宿題・レポート	◎	○		○		25%
履修上の注意	・辞書を持参すること ・授業中のスマホ使用禁止 ・授業外での自主学習						

科目名	実用英語Ⅰ－①、実用英語Ⅱ－①				
科目名(英)	Practical EnglishⅠ－①・Practical EnglishⅡ－①				
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	津田 徳子
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	○
対象学科・学年	エアライン科・ホテルブライダル科 1年・2年				
授業概要	高校3年までに学習する英語の4技能(読む・書く・聞く・話す)の表現力を高めることを目的とする。4技能を活かし、エアライン業界やホテル業界などの接客において、外国人とコミュニケーション力を身につける。また、「英会話」や「英語表現」などと連動し、話す、書く能力を実践的に修得する。				
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他
	○				
	○				
	○				
	○	○			
目標	英語検定2級レベルの語彙(4,000～5,000語)の意味を理解できる。				
	まとまりのある説明文を理解したり、実用的な文章から必要な情報を得ることができる。				
	日常生活での情報・説明を聞き取ったり、まとまりのある内容を理解することができる。				
	日常生活での出来事について説明したり、用件を伝えたりすることができる。				
	日常生活での話題についてある程度まとまりのある文書を書くことができる。				
テキスト・教材 参考図書	・旺文社 DAILY20日間 英検2級集中ゼミ ・旺文社 2018年度版英検2級過去6回全問題集&CD ・桐原書店 English Grammar Navigator Workbook				
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示
	1	プレースメントテスト			
	2	プレースメントテスト			
	3	英検2級の概要と学習の進め方、分野別学習方法(語彙1)			
	4	分野別学習方法(語彙2、リスニング問題 会話文1)			教科書の該当範囲を事前に読み、問題を解いておくこと
	5	分野別学習方法(語彙3、リスニング問題 会話文2)			教科書の該当範囲を事前に読み、問題を解いておくこと
	6	分野別学習方法(イディオム1、リスニング問題 文の内容一致1)			教科書の該当範囲を事前に読み、問題を解いておくこと
	7	分野別学習方法(イディオム2、リスニング問題 文の内容一致2)			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと 学習範囲の復習
	8	分野別学習(語彙、イディオム)確認テスト、リスニング問題			教科書の該当範囲を事前に読み、問題を解いておくこと
	9	分野別学習方法(語句の空所補充問題1、リスニング)			教科書の該当範囲を事前に読み、問題を解いておくこと
	10	分野別学習方法(語句の空所補充問題2、リスニング)			教科書の該当範囲を事前に読み、問題を解いておくこと
	11	分野別学習方法(長文の内容一致選択問題1、リスニング)			教科書の該当範囲を事前に読み、問題を解いておくこと
	12	分野別学習方法(長文の内容一致選択問題2、リスニング)			教科書の該当範囲を事前に読み、問題を解いておくこと
	13	分野別学習方法(長文の内容一致選択問題3、リスニング)			教科書の該当範囲を事前に読み、問題を解いておくこと
	14	長文の内容一致選択問題の確認テスト、英作文の書き方			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと 学習範囲の復習
	15	英作文(文型3)の書き方、文法(時制・品詞)、リスニング			教科書の該当範囲を事前に読み、問題を解いておくこと
	16	英作文(文型3)の書き方、文法(時制・品詞)、リスニング			教科書の該当範囲を事前に読み、問題を解いておくこと
	17	英作文(文型2・文型4)の書き方、文法(分詞)、リスニング			総合問題を事前に読み、問題を解いておくこと
	18	総合問題(英作文)、リスニング			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと 学習範囲の復習
	19	演習問題(所定時間内で解答する)、リスニング			不正解の問題の復習と、配布資料の該当範囲を事前に解いておくこと
	20	演習問題(所定時間内で解答する)、リスニング			不正解の問題の復習と、配布資料の該当範囲を事前に解いておくこと
	21	実践問題(過去問題より 2018年度第3回)			
	22	実践問題(過去問題より 2018年度第3回)の解答解説			不正解の問題の復習と、配布資料の該当範囲を事前に解いておくこと
	23	実践問題 2018年度第3回の解答解説			不正解の問題の復習と、配布資料の該当範囲を事前に解いておくこと
	24	2018年度第3回問題より、英作文の解説と作文のポイント			不正解の問題の復習と、配布資料の該当範囲を事前に解いておくこと
	25	実践問題(過去問題より 2018年度第2回)			
26	実践問題(過去問題より 2018年度第2回)			不正解の問題の復習と、配布資料の該当範囲を事前に解いておくこと	

	27	実践問題 2018年度第2回の解答解説	不正解の問題の復習と、配布資料の該当範囲を事前に解いておくこと				
	28	実践問題(過去問題より 2018年度第1回)					
	29	実践問題(過去問題より 2018年度第1回)	不正解の問題の復習と、配布資料の該当範囲を事前に解いておくこと				
	30	実践問題 2018年度第1回の解答解説、定期試験(50分間)	不正解の問題の復習と、配布資料の該当範囲を事前に解いておくこと				
評価方法	(1)授業の中で確認テストを2回以上実施する。(2)授業前課題・宿題を数回実施する。(3)定期試験(筆記)を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				50%
	確認テスト	○	○				25%
	宿題	○			○		20%
	授業前課題	○	○		○		5%
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業前課題を必ず行うこと。この授業前課題の小テストは、基本的に毎週月曜日に実施し、平常点となる。</li> <li>・与えられた課題は必ず行い、授業に出席すること。</li> <li>・授業には、英和辞典(電子辞書可)、筆記具、ノートを持参すること。アプリの辞書機能は使用しない。</li> </ul>						

科目名	実用英語 I、II-①					
科目名(英)						
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	波多野 里美	
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	○	
対象学科・学年	ホテルブライダル 1年・エアライン科 1年・2年					
授業概要	テキストの英検過去問題集を徹底的に学習することにより、合格を目指します。毎朝、朝課題に英単語熟語の問題を学習し提出してください。授業は、毎朝リスニング問題を実施します。また、テキストの英検準2級過去問題集に徹底的に取り組めますので予習・復習を忘れないください。また英作文にも取り組みます。英単語・英熟語については、各自、しっかり「出る順パス単」を自宅学習してください。					
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標
	○	○				英検準2級の合格を目指す。
	○	○				英検準2級の英単語・熟語を書き覚える。
		○				英検準2級のリスニング問題に対応できるようになる。
		○				英検準2級の筆記問題に対応できる力をつける。
	○				英検準2級程度の英作文を書けるようになる。	
テキスト・教材 参考図書	英検準2級過去6回全問題集(旺文社)・でる順パス単英検準2級(旺文社)・英検準2級書き覚えノート(旺文社)					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	リスニング・短文の語句空所補充			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	2	リスニング・短文の語句空所補充			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	3	リスニング・短文の語句空所補充			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	4	リスニング・短文の語句空所補充			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	5	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと。	
	6	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと。	
	7	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと。	
	8	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	9	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	10	リスニング・長文の語句空所補充テキスト・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	11	リスニング・長文の語句空所補充テキスト・英作文			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと。	
	12	リスニング・長文の語句空所補充テキスト・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	13	リスニング・長文の語句空所補充テキスト・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	14	リスニング・長文の内容一致選択テキスト			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	15	リスニング・長文の内容一致選択テキスト			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと。	
	16	リスニング・長文の内容一致選択テキスト			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	17	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	18	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	19	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	20	リスニング・会話文の文空所補充テキスト・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと。	
	21	リスニング・会話文の文空所補充テキスト・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	22	リスニング・会話文の文空所補充テキスト・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	23	リスニング・会話文の文空所補充テキスト・英作文			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	24	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
25	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと。		

	26	リスニング・短文の語句空所補充・英作文	教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと				
	27	リスニング・短文の語句空所補充・英作文	教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと				
	28	リスニング・短文の語句空所補充・英作文	教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと				
	29	リスニング・短文の語句空所補充・英作文	教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと				
	30	英語Dクラス 学期末試験	授業内容に係る学期末テストを実施するので復習しておくこと				
評価方法	(1)学期末試験(筆記)を実施する。(2)授業の中で小テストを5回実施する。(3)授業への取り組み、朝課題や宿題の提出状況を評価する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	学期末試験		○				50%
	小テスト		○				30%
	朝課題・宿題・授業態度				○		20%
履修上の注意	授業中の携帯電話使用を禁止します。英単語検索は、電子辞書、または英語辞典等を持参してください。 出席が講義回数の3分の2に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						



科目名	実用英語 I					
科目名(英)						
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	内丸 誌帆	
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	○	
対象学科・学年	ホテルブライダル・エアライン科 1年 2年					
授業概要	基本的な文法・単語を理解し、中学校卒業レベルの英語力を身につける、業務に必要な挨拶や指示が理解できる。 海外の文化などについて平易な説明を読んで内容を理解することができる。英検3級合格を目標とする。					
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標
	○					会話の内容を聞き取り、短文英語で答えることができる。
	○	○				頻出のイディオムを含んだ文章(10文程度)を暗唱・ライティングできる
テキスト・教材 参考図書	旺文社 英検3級集中ゼミ／でる準パス単 英検3級 啓隆社 英作基本文例600／Baton Pass					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	実用英語1 適切な語句を学ぶ問題① / リスニング				
	2	実用英語2 適切な語句を学ぶ問題① / リスニング				
	3	実用英語3 適切な語句を学ぶ問題② / リスニング				
	4	実用英語4 適切な語句を学ぶ問題② / リスニング				
	5	実用英語5 適切な語句を学ぶ問題③ / リスニング				
	6	実用英語6 適切な語句を学ぶ問題③ / リスニング				
	7	実用英語7 適切な会話表現を学ぶ問題 / リスニング				
	8	実用英語8 読解問題 提示 / リスニング				
	9	実用英語9 読解問題 e-mail / リスニング				
	10	実用英語10 読解問題 手紙文 / リスニング				
	11	実用英語11 読解問題 説明文 / リスニング				
	12	実用英語12 英作文問題① / リスニング				
	13	実用英語13 英作文問題① / リスニング				
	14	実用英語14 英作文問題② / リスニング				
	15	実用英語15 英作文問題② / リスニング				
	16	実用英語16 リスニング第1部				
	17	実用英語17 リスニング第2部				
	18	実用英語18 リスニング第3部				
	19	実用英語19 リスニング第1部				
	20	実用英語20 リスニング第1部				
	21	実用英語21 リスニング第2部				
	22	実用英語22 リスニング第3部				
	23	実用英語23 読解問題 提示 / リスニング				
	24	実用英語24 読解問題 e-mail / リスニング				
25	実用英語25 読解問題 手紙文 / リスニング					

	26	実用英語26 読解問題 説明文 / リスニング					
	27	実用英語27 実力完成模擬テスト / リスニング					
	28	実用英語28 実力完成模擬テスト / リスニング					
	29	実用英語29 総復習①					
	30	実用英語30 総復習②、定期試験 50分間					
評価方法	(1) 定期試験(筆記)を実施する。(2) 授業中に小テストを実施する。(3) 宿題を数回課す。 (4) 授業中、積極的に発表することや取り組み姿勢などを評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	○				50%
	小テスト	○	○				20%
	宿題・レポート		○				20%
	態度				○		10%
履修上の注意							

科目名	プレゼンテーション演習						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	北島正幸		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	ホテル・ブライダル科・エアライン科 2年						
授業概要	あらゆるビジネスシーンに最も活用されている「プレゼンテーションソフトMicrosoft PowerPoint」。そのPowerPointの基本の習得を目指すとともにプレゼンテーションを経験します。						
授業形式	講義: △	演習:	実習:	実技: ○	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					プレゼンテーションに必要なテクニックを身に付ける	
		○	○			パワーポイントを使ってプレゼンテーションの資料を作成できるようになる	
		○	○			パワーポイントを使ってプレゼンテーションを経験する	
テキスト・教材 参考図書	情報利活用プレゼンテーション						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	プレゼンテーションの企画					
	2	わかりやすいストーリー構成					
	3	必要な情報の収集					
	4	センスアップするレイアウトデザイン					
	5	視覚に訴えるチャート化					
	6	訴求力を上げるカラー化					
	7	数値をアピールする表・グラフ活用					
	8	イメージを伝えるイラスト・写真活用					
	9	発表で魅せるアニメーション					
	10	作品作成					
	11	発表					
	12	自信を高める万全な準備					
	13	メッセージが伝わる発表スキル					
	14	信頼を得る質疑応答					
15	期末試験						
評価方法	プレゼンテーション・課題提出のすべて行って平常点100点とし、期末試験の点数との平均で行う。 期末試験の点数が60点以下・または受験しなかった場合は別途担当教員から試験・またはレポートを課す。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	試験	◎	◎				50%
	プレゼンテーション	◎	○	◎			25%
	課題提出	◎	○		◎		25%
履修上の注意	プレゼンテーションの各自行ってまいりますので、テーマを早めに考えてください。						

科目名	HRS(実技試験対策)						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30 時間	担当者	山本 幸子		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	ホテルブライダル科 2年						
授業概要	夏季に実施される「レストランサービス技能検定試験(実技)」の合格を目指し、サービスの基礎知識、接客の基本、トラブル時の対応等を学ぶ。衛生観念を持ち、ホスピタリティの表現、販売促進など、プロの料飲サービススタッフとして必要な知識を身につける						
授業形式	講義:	演習: △	実習:	実技: ○	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					検定合格できるレベルのレストランサービス知識を身につける	
			○			検定合格できるレベルのホスピタリティサービス技術を身につける	
	○					常に衛生観念を意識したサービスを実践できるようにする	
			○			検定合格に向け、仲間と協力しながら積極的に行動する	
テキスト・教材 参考図書							
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	レストランサービス技能検定試験(実技)の概要 タイムトライアル			実習着、スーツを着用してください		
	2	ランチのサービス ~衛生観念 それ、アウトかも~			実習着、スーツを着用してください		
	3	ランチのサービス ~トレイとプレートをスマートに使いこなす~			実習着、スーツを着用してください		
	4	ランチのサービス ~サーバーのプロを目指せ~			実習着、スーツを着用してください		
	5	ランチのサービス ~オーダーをとってみよう~			実習着、スーツを着用してください		
	6	ランチのサービス ~ご案内をしましょう~			実習着、スーツを着用してください		
	7	ランチのサービス ~時間内のサービスを目指そう~			実習着、スーツを着用してください		
	8	ランチのサービス ~テスト前、ランチの仕上げをしよう~			実習着、スーツを着用してください		
	9	ランチのサービス ~仕上げのテスト~			実習着、スーツを着用してください		
	10	朝食のサービス ~バッシング&セッティングを中心に~			実習着、スーツを着用してください		
	11	朝食のサービス ~サービスの流れを確認しよう~			実習着、スーツを着用してください		
	12	朝食のサービス ~時間内のサービスを目指そう~			実習着、スーツを着用してください		
	13	朝食のサービス ~トラブルの対応を学ぼう~			実習着、スーツを着用してください		
	14	朝食のサービス ~テスト前、朝食の仕上げをしよう~			実習着、スーツを着用してください		
	15	朝食のサービス ~仕上げのテスト~			実習着、スーツを着用してください		
評価方法	①ランチサービスのテストを実施する ②朝食サービスのテストを実施する 以上を下記の観点、割合で評価する 成績評価はS(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、D(59点以下)とする						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	ランチの実技			◎	○		40%
	朝食の実技			◎	○		40%
	授業態度・服装				◎		20%
履修上の注意							

科目名	HRS(筆記試験対策)						
科目名(英)							
単位数	3単位	時間数	4-6時間	担当者	山本 幸子		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	ホテルブライダル科 2年						
授業概要	夏季に実施される「レストランサービス技能検定試験(学科)」の合格を目指し、食材・飲料などの基礎知識、接客の基本、宴会やレストランに関する知識、食文化などを学ぶ。また、食品衛生、安全衛生など、衛生に関する基礎を学び、今後の就業や生活に必要な知識を身につける						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					検定合格できるレベルのレストランに関する知識を身につける	
	○					食品の特性を知り、料飲のサービスに活かすことが出来る能力を身につける	
	○					食中毒の種類、発生原因を学び、今後の生活や職場で活かすことが出来る	
	○					独特の採点方法に慣れ、安定して合格できるレベルの知識を身につける	
テキスト・教材 参考図書	西洋料理 料飲接客サービス技能 日本ホテル・レストランサービス技能協会						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	レストランサービス技能検定試験の概要			教科書に目を通しておいください		
	2	食品 分類と特徴、保存について			教科書に目を通しておいください		
	3	西洋料理に使用される主な食材について ~前菜から肉~			受験票を作成します 写真と印鑑が必要です		
	4	西洋料理に使用される主な食材について ~野菜からデザート~			教科書に目を通しておいください		
	5	調理法 ワイン ワインの産地と特徴、保存法とサービスの適温			教科書に目を通しておいください		
	6	ワイン以外の飲み物の特徴 アルコール飲料			教科書に目を通しておいください		
	7	ワイン以外の飲み物の特徴 食後の飲み物やミネラルウォーター等			教科書に目を通しておいください		
	8	レストランのメニュー セット料理とアラカルト ~コース料理の構成~			教科書に目を通しておいください		
	9	中間テスト			合格点が取れるよう、復習をしておいください		
	10	食器用具 銀食器・陶磁器・ガラス容器の種類と特徴			教科書に目を通しておいください		
	11	料飲サービスとは スタッフに求められる資質			教科書に目を通しておいください		
	12	料飲サービスとは 宴会の種類とサービス			教科書に目を通しておいください		
	13	料飲サービスとは レストランのサービス方法、セッティング			教科書に目を通しておいください		
	14	料飲サービスとは レストランの案内から注文、販売促進まで			教科書に目を通しておいください		
	15	食事の国際習慣、食文化について ~プロトコールとは~			教科書に目を通しておいください		
	16	施設管理 苦情対応と遺失物の取扱いについて			教科書に目を通しておいください		
	17	食品衛生 ~食中毒の分類と特徴~			教科書に目を通しておいください		
	18	食品衛生 ~寄生虫と害虫の感染症~			教科書に目を通しておいください		
	19	食品衛生 ~食品の保存、殺菌及び消毒について~			教科書に目を通しておいください		
	20	安全衛生 ~労働災害の傾向について~			教科書に目を通しておいください		
	21	安全衛生 ~労働衛生管理について~			教科書に目を通しておいください		
	22	過去問にチャレンジ①			合格点が取れるよう、復習をしておいください		
	23	過去問にチャレンジ②			合格点が取れるよう、復習をしておいください		
評価方法	①毎回、授業の最初におさらいテストを実施する ②定期試験を実施する ③ポイント整理ノートを作成、提出する 以上を下記の観点、割合で評価する 成績評価はS(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、D(59点以下)とする						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				80%
	中間テスト・過去問	◎	○				10%
	提出物	○			◎		10%
履修上の注意							

科目名	プロトコール						
科目名(英)	Manner Protocol						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	津田 徳子		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	ホテル・ブライダル科2年						
授業概要	・日本人として、社会人として必須のビジネスマナー、テーブルマナー、プロトコール(国際儀礼)、冠婚葬祭に関わる知識を身につける ・ホテル業界やブライダル業界における接客、サービスの仕事をする際に、これらの知識を活かす。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				プロトコール(国際儀礼)の原則を理解し、自然にスマートに実践することができる	
	○	○				歴史、風俗、宗教、文化の背景を知ったうえで、相手を尊重し自国のものを強制しない態度がとれる	
	○	○				ビジネスシーンにおいて相手に好ましい印象を与える話し方や表情を学び、実践することができる	
	○					冠婚葬祭についてのルールを理解し、状況に応じた正しい振る舞いができる	
○					日本文化に関する知識を得、諸外国の方々はその文化について説明ができる		
テキスト・教材 参考図書	NPO法人日本マナー・プロトコール協会出版 マナー&プロトコールの基礎知識 NPO法人日本マナー・プロトコール協会出版 マナー・プロトコール検定2級、3級問題集						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	マナー、エチケット、礼儀、作法の違い			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	2	国際人としてのプロトコール			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	3	社会人に必要なマナー			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	4	ビジネスシーンのマナー①(名刺の扱い方、電話応対)			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	5	ビジネスシーンのマナー②(来客応対、ビジネス文書)			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	6	食事のマナー①(和食テーブルマナー、和室の作法)			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	7	食事のマナー②(西洋料理、中華料理他)			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	8	「冠」のしきたり、冠婚葬祭とは 主な通過儀礼について			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	9	「婚」のしきたり			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	10	「葬」のしきたり(仏式、神式、キリスト教式)			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	11	「祭」のしきたりと冠婚葬祭のまとめ			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	12	マナープロトコール3級検定対策①			前回の問題の復習と弱点箇所の洗い出し		
	13	マナープロトコール3級検定対策②			前回の問題の復習と弱点箇所の洗い出し		
	14	マナープロトコール3級検定対策③			前回の問題の復習と弱点箇所の洗い出し		
15	マナープロトコール3級検定対策④			前回の問題の復習と弱点箇所の洗い出し			
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)授業の中で小テストを2回以上実施する (3)宿題を数回課す (4)授業中グループディスカッションを行う 以上を下記の観点・割合で評価する。 評価基準は、S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、D(59点以下)とする						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				50%
	小テスト	○	○				25%
	宿題	○			○		15%
	グループディスカッション	○	○		○		10%
履修上の注意	授業準備としての予習・復習を欠かさないこと。授業にはノートを持参し、講義で重要と思われる内容を記録すること。記録内容の精度も成績の一部として評価する。						

科目名	色彩・配色					
科目名(英)	color co-ordinate					
単位数	前期3・後期1	時間数	前期2+補5・後期8	担当者	野正 真紀	
実施年度	2019年度	実施時期	前期・後期	実務家教員 担当科目	○	
対象学科・学年	ホテルブライダル科 2年					
授業概要	パーソナルカラーの基礎と診断スキルの習得を通じて自分に似合う色を知り、社会人・職業人としての自己表現力、コミュニケーション力を高め、自分を磨く。					
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法: ○ その他: △	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	
	○	○	○	○	日本カラーコーディネーター協会「色彩活用パーソナルカラー検定3級」合格	
	○	○	○	○	パーソナルカラー診断実習を通して自分の魅力を引き出める色を知る	
	○	○	○	○	配色演習を通して、カラーセンスを養う。 色の視覚的効果や心理的影響を知り、ビジネスシーンに役立てる	
テキスト・教材 参考図書	色彩活用パーソナルカラー検定 公式テキスト3級 色彩活用パーソナルカラー検定 3級・2級 公式問題集					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1~3	色の基本トピック - 色の分類と三属性			* 進捗に応じた教科書・ 問題集・配布プリントの 予習・復習をしておくこと	
	4	トーントピック - トーンの分類				
	5	「色彩活用」としてのパーソナルカラー - 「P.I.」とは				
	6~8	パーソナルカラーの基本 - パーソナルカラーの4つのグループ				
	9~12	色のイメージを豊かにする - カラーパレットとイメージカードを作った演習				
	13~14	「似合う色」の基準を知る - 肌と生じた色素=似合う色			ビジュアルカラーズ	
	15~16	「似合う色」を客観的に判断 - 色の対比・光の反射吸収			イメージボード"等は	
	17~18	ドレッシング方法 - 準備と環境 似合う色とは			授業時間内に完成	
	19~20	" - ドレッシング実習			できなかった場合は	
	21~22	「似合う色」を取り入れる - カラーパレットの取り入れ			宿題となる	
	23~24	" - 「P.I.」を活かした自分ブランディング				
	25~27	検定直前総復習 - 過去問題解答と解説				
	28	ブライダルにおけるパーソナルカラー - ブライダルウェアのカラーコーディネート				
	29~34	自分ブランディング - 自分のパーソナルカラーシステムのイメージボード作成				
35~36	総まとめ - イメージボード発表・講習会					
評価方法	(1) 日本カラーコーディネーター協会「色彩活用パーソナルカラー検定3級」受検 合格結果					
	(2) ホイスト(色彩確認テスト全10問)実施					
	(3) ビジュアルカラーズ作成・イメージボード「自分ブランディング」作成及びプレゼンテーション					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他 (色感)
	定期試験(検定)	○	○		○	} 50%
	小テスト	○	○		○	
宿題・レポート	○	○		○		
発表・作品	○	○		○		
* 成績評価基準は S・A・B・C・D とする (90点以上)(80点以上)(70点以上)(60点以上)(59点以下)						
履修上の注意	その他の教材 カラーカード 24色色鉛筆 カッティングマット アクリルボード スチール定規 カラー A4クリアファイル					

科目名	ウェディングプラン演習						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	畑迫二郎		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	ホテル・ブライダル科 2年						
授業概要	2年間の集大成として2月に行われる模擬結婚式を成功させるための準備を行う。1年次で学んだブライダルの知識を活かし、テーマに沿ったウェディングプランや演出を考案し、プログラムに沿って計画実行する。ブライダルの知識向上やアイデア力向上のみでなく、役割ごとに責任感を持ち、積極性と協調性の向上も目指す。						
授業形式	講義:	演習: ○	実習: ○	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
		○				結婚式を行うにあたり必要な準備物やプログラムを準備・考案できる	
			○			模擬結婚式に向けスケジュール通り準備することができる	
				○		自分役割以外にも目を向け、協力・助言が出来る	
	○					模擬披露宴会場側との打ち合わせ交渉が出来る	
			○			役割に責任を持って行動し、進捗状況を共有することができる	
テキスト・教材 参考図書	ブライダルコーディネーターテキスト<スタンダード>						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	模擬結婚式準備①(進捗状況の確認)					
	2	模擬結婚式準備②(制作物用品買い出し準備)				買い出しリストを作成しておくこと	
	3	模擬結婚式準備③(制作物用品買い出し)				外出時の注意事項	
	4	模擬結婚式準備④(アイテム制作～招待状、その他ペーパーアイテム～)				なし	
	5	模擬結婚式準備⑤(アイテム制作～ウェルカムグッズ～)				各自進捗状況をまとめておくこと	
	6	模擬結婚式準備⑥(進捗状況確認、物品整理)				なし	
	7	模擬結婚式準備⑦(ウェディングケーキデザイン考案)				事前にアイデアを考えておくこと	
	8	前期振り返りとまとめ、後期への課題				事前に振り返りをしておくこと	
評価方法	主に演習授業となる為、下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	授業態度				◎		100%
	意欲・努力				◎		
	報告・連絡・相談	◎					
履修上の注意	授業に関係のない私語や行動はしないこと。外出時は時間通り行動すること。報連相の徹底。						



科目名	ホテルスタッフ教養						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	井上 ゆかり		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	ホテル・ブライダル科 2年						
授業概要	主に就職活動として履歴書添削や面接練習を行い就職内定へ繋げる。同時に社会人、また、ホテル・ブライダル業界スタッフとして即戦力で活躍できるよう身嗜みをはじめマナーや言葉遣いを身につける。専門性を交えながらお客様や取引先との対応方法を学ぶ。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
				○		業界に適した清潔感のある身嗜みをし日常的に維持することができる	
				○		社会人としてのマナー(挨拶・電話・メール・態度など)を身につけ実践することができる	
	○					就職活動における報連相を素早く行うことができる	
	○					好感もてる表情や口調で自身の伝えたいことを話し、企業の求める人材像に相応した面接ができる	
			○			自身の立場をわきまえて行動し、周囲へ配慮することができる	
テキスト・教材 参考図書	就職活動ガイドブック、求人票、受験者報告書、配布プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	オリエンテーション(就職活動状況確認)				なし	
	2	就職活動指導①(就職活動状況報告・企業研究・受験準備)				説明会資料やパンフレットを準備しておくこと 企業HPをみておくこと	
	3	学生と社会人の違い、メール・手紙のマナー				先生や企業に対し自分が普段どのようなメール(文章内容)や手紙を送っているか考えておくこと	
	4	新入社員に求められるもの、電話のマナー				先生や企業に対し自分が普段どのような電話対応をしているか考えておくこと	
	5	就職活動指導③(就職活動状況報告・履歴書作成)				履歴書に記載する内容をまとめておくこと	
	6	就職活動指導④(就職活動状況報告・履歴書添削)				履歴書の下書きをしておくこと	
	7	就職活動指導④(就職活動状況報告・面接対策)				面接で話す内容を考えておくこと	
	8	就職活動指導⑤(就職活動状況報告・面接指導)				面接練習をしておくこと	
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)授業の中でマナーについての小テストを2回実施する(2)授業態度は積極的な発言・質問で評価する(3)意欲・努力は指示内容の取り組み方にて評価する(4)指示通りの提出物で評価し、宿題・レポートを数回実施する(5)受験後の報告・連絡や就職活動における相談を随時行っているかを評価する 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	小テスト	◎	◎				50%
	授業態度				◎		50%
	意欲・努力				◎		
	提出物状況				◎		
	報告・連絡・相談	◎					
ホームワーク				◎			
履修上の注意	欠席が3回以上となる場合は、単位未取得となる						

科目名	ホテルマネジメント I						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	小形 享平		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	ホテル・ブライダル科 1年生						
授業概要	ホテル経営を中心に幅広く学び、就職後の業務に必要なホテルの基礎知識を習得する。 ホテルビジネス実務検定ベーシック2級合格を目標とする。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	◎				○	ホテルビジネス実務検定ベーシック2級 合格	
	○					日本のホテル業界の基礎と歴史を学ぶ。	
テキスト・教材 参考図書	ホテルビジネス基礎編 一般財団法人日本ホテル教育センター						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	観光産業の概況					
	2	ホテル産業の概要					
	3	実務者として必要な基本知識					
	4	宿泊部門の概要					
	5	宿泊部門の実務					
	6	料飲部門の概要					
	7	料飲部門の実務					
	8	宴会部門の概要					
	9	宴会部門の実務					
	10	調理部門の概要					
	11	調理部門の実務					
	12	ホテルビジネス実務検定試験2級まとめ問題					
	13	まとめ問題の解答・説明					
	14	ホテルビジネス実務検定2級過去問題					
15	前期内容のまとめ						
評価方法	(1)実技試験の点数にて評価する(60点以下は再試となる) (2)毎授業ごとに小テストを実施し、平均点を評価とする 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準はS(90点以上)A(80点以上)B(70点以上)C(60点以上)D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	実技試験	◎	○	◎			50%
	小テスト		○		◎		50%
履修上の注意	2コマ目以降、毎授業ごとに前回の授業の小テストを実施するので、復習を欠かさない事。						

科目名	一般教養Ⅱ						
科目名(英)	General Education						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	乗鞍 弘毅		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	ホテルブライダル2年						
授業概要	言語分野では、言葉の意味や話の要旨を的確にとらえて理解できる力を養い、非言語分野では、数的な処理や、論理的思考力養う。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					一般常識の用語を理解し、知識を増やす。	
		○				用語が表す仕組みや働きを理解し、説明できるようにする。	
テキスト・教材 参考図書	一般常識 & 最新時事 一問一答【頻出1500問】						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	§ 001国内政治 § 002憲法・法律・司法 § 003震災復興				答えられなかった問題を覚える。	
	2	§ 004制度改革 § 005社会問題 § 006経済問題 § 007各国指導者				答えられなかった問題を覚える。	
	3	§ 008国際問題 § 009国際紛争・地域紛争 § 010領土問題 011経済協定				答えられなかった問題を覚える。	
	4	§ 012アメリカ・ヨーロッパ § 013アジア・アフリカ § 014イラン・イラク § 015北朝鮮				答えられなかった問題を覚える。	
	5	§ 016新エネルギー § 017環境問題 § 018宇宙開発 § 019世界遺産				答えられなかった問題を覚える。	
	6	§ 020ノーベル賞				答えられなかった問題を覚える。	
	7	§ 1-1 漢字の書き取り § 1-2 漢字の読み § 1-3 難読漢字 § 1-4 同音異義語 § 1-5 同訓異義語 § 1-6 類義語・対義語				答えられなかった問題を覚える。	
	8	§ 1-7 四字熟語 § 1-8 ことわざ・慣用句 § 1-9 敬語 § 1-10 誤文訂正				答えられなかった問題を覚える。	
	9	<復習> § 001国内政治 § 002憲法・法律・司法 § 003震災復興				答えられなかった問題を覚える。	
	10	<復習> § 004制度改革 § 005社会問題 § 006経済問題 § 007各国指導者				答えられなかった問題を覚える。	
	11	<復習> § 008国際問題 § 009国際紛争・地域紛争 § 010領土問題 011経済協定				答えられなかった問題を覚える。	
	12	<復習> § 012アメリカ・ヨーロッパ § 013アジア・アフリカ § 014イラン・イラク § 015北朝鮮				答えられなかった問題を覚える。	
	13	<復習> § 016新エネルギー § 017環境問題 § 018宇宙開発 § 019世界遺産				答えられなかった問題を覚える。	
	14	<復習> § 1-1~5				答えられなかった問題を覚える。	
15	<復習> § 1-6~10				答えられなかった問題を覚える。		
評価方法	期末試験の結果(100%)により評価する。 成績評価基準はS(90点以上)A(80点以上)B(70点以上)C(60点以上)D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				100%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	English Communication II - ①						
科目名(英)	English Communication I						
単位数	2	時間数	30	担当者	Robert Sumner		
実施年度	2019	実施時期	1st term	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	Hotel/Bridal 2nd Grade.						
授業概要	Provide students with motivation to learn English Give students confidence to believe they can improve. Provide English skills for Everyday English and the work environment.						
授業形式	講義:	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					To learn everyday vocabulary to remember key words.	
	○					Study to give students confidence to express themselves.	
			○			Encourage students to speak with confidence + a positive attitude.	
テキスト・教材 参考図書	Person to Person + Worksheets						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	Let's talk about Food					
	2	How do I get there?					
	3	How do you like the city?					
	4	Maps + Directions					
	5	First Conditional					
	6	Hotel English + Vocabulary					
	7	Dealing with customers					
	8	Arrival + check-in + check out					
	9	Hotel Dialogues					
	10	Could you help me?					
	11	Comparatives					
	12	What would you like?					
	13	Ordering Food/Drinks					
	14	Test Preparation					
15	End of term test						
評価方法		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	○				50
	小テスト						
	宿題・レポート						
	発表・作品 態度・意欲				○		50.
履修上の注意							

科目名	ENGLISH Communication II - ①						
科目名(英)							
単位数	2	時間数	15	担当者	Colin Carmichael		
実施年度	2019	実施時期	1ST TERM	実務家教員 担当科目	0		
対象学科・学年	HOTEL BRIDAL 2ND YEAR						
授業概要	Using English in Everyday Conversation Interaction with English Speaking Guests. Basic English Conversation						
授業形式	講義:	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					Everyday Conversation	
		○				Inter-action	
	○					Daily English Use	
テキスト・教材 参考図書							
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	Review of previous exercises					
	2	Person to Person Unit 1 personal info.					
	3	Person to Person Unit 1 conversation 2					
	4	Person to Person Unit 2					
	5	Passport travel English Unit 1					
	6	Passport travel English Unit 2					
	7	Passport travel English Unit 3					
	8	Person to Person Unit 3					
	9	Person to Person Unit 4					
	10	Passport travel English Unit 4					
	11	Passport travel English Unit 5					
	12	Passport travel English Unit 6					
	13	Person to Person Unit 5					
	14	Review for Test (all lessons)					
	15	TEST					
評価方法		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	○				50%
	小テスト						
	宿題・レポート						
	発表・作品						
	態度・意欲				○		50%
履修上の注意							

科目名	社会教養Ⅱ						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	井上 ゆかり		
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	ホテル・ブライダル科 2年						
授業概要	社会人になる上でのマナーや身嗜み、教養知識を身につける。まずは、就職活動における企業研究・履歴書添削・面接指導を行い就職内定へ繋げる。また、クラスや学科行事を行い学科・学年を跨いで交流を深める事でコミュニケーション力向上や協調性を身につけ業界へ適した人材育成に繋げる。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
				○		業界に適した清潔感のある身嗜みをし日常的に維持することができる	
				○		社会人としてのマナー(挨拶・電話・メール・態度など)を身につけ実践することができる	
	○					就職活動における報連相を素早く行うことができる	
	○					好感もてる表情や口調で自身の伝えたいことを話し、企業の求める人材像に相応した面接ができる	
			○			自身の立場をわきまえて行動し、周囲へ配慮することができる	
テキスト・教材 参考図書	就職活動ガイドブック、求人票、受験者報告書、配布プリント、マナープロトコルの基礎知識 & 検定2級・3級問題集						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	オリエンテーション(目標設定・クラスルール設定・各委員役割分担)			なし		
	2	学科行事(新入生歓迎会)			簡単な自己紹介や新入生が学校生活に馴染めるような場の設定やコミュニケーション方法を考えておくこと		
	3	就職活動指導①(就職活動状況報告・企業研究・受験準備)			説明会資料やパンフレットを準備しておくこと 企業HPをみておくこと		
	4	学校行事準備①(役割分担・ディスカッション)			なし		
	5	就職活動指導②(就職活動状況報告・履歴書作成)			履歴書に記載する内容をまとめておくこと		
	6	就職活動指導③(就職活動状況報告・履歴書作成・添削)			履歴書の下書きをしておくこと		
	7	就職活動指導④(就職活動状況報告・履歴書添削・面接対策)			履歴書の下書きをしておくこと 面接で話す内容を考えておくこと		
	8	就職活動指導⑤(就職活動状況報告・履歴書添削・面接対策)			履歴書の下書きをしておくこと 面接で話す内容を考えておくこと		
	9	就職活動指導⑥(就職活動状況報告・面接指導)			面接練習をしておくこと		
	10	学科行事(観光系合同交流会)			なし		
	11	学科行事(観光系合同交流会)			なし		
	12	社会人としてのマナー・プロトコルの知識習得(復習)			プロトコル教科書を読んでおくこと		
	13	学科行事(実習壮行会)			1年次の実習を振り返り、実習ノートや実習で使用したメモ・資料を準備しておくこと		
	14	学科行事(テーブルマナー)			テーブルマナーについて復習し心構えをしておくこと		
15	学科行事(テーブルマナー)			テーブルマナーについて復習し心構えをしておくこと			
評価方法	(1)提出物は各期限を設定する (2)ホームワークを数回実施する (3)自習・行事を数回実施する以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	授業態度				◎		100%
	意欲・努力				◎		
	提出物状況				◎		
	報告・連絡・相談	◎					
	ホームワーク				◎		
履修上の注意	欠席が6回以上となる場合は、単位未取得となる						